ウォーキング・ベースの常套句

完全コピー譜付き
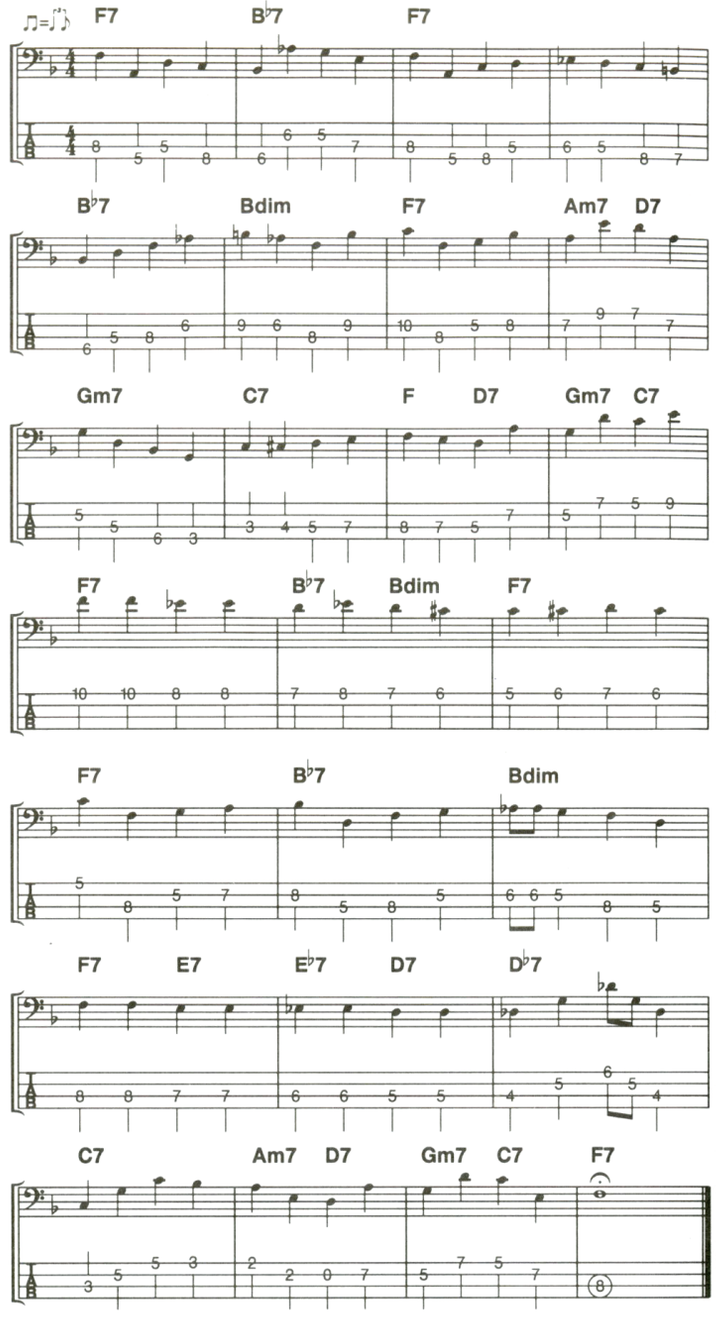
水野正敏（ラクター）

ビデオの運指とタブ譜は一致していません。
ビデオでの運指は，その場での音使いと
次の音との関連で，臨機応変に行いました。
タブ譜の方は，全体を見た上で決定しました。
どちらの運指を使用しても構いません。
合理的な運指を自分で考えるのもよいでしょう。
（水野正敏）

Video Work Shop
BASS MAGAZINE
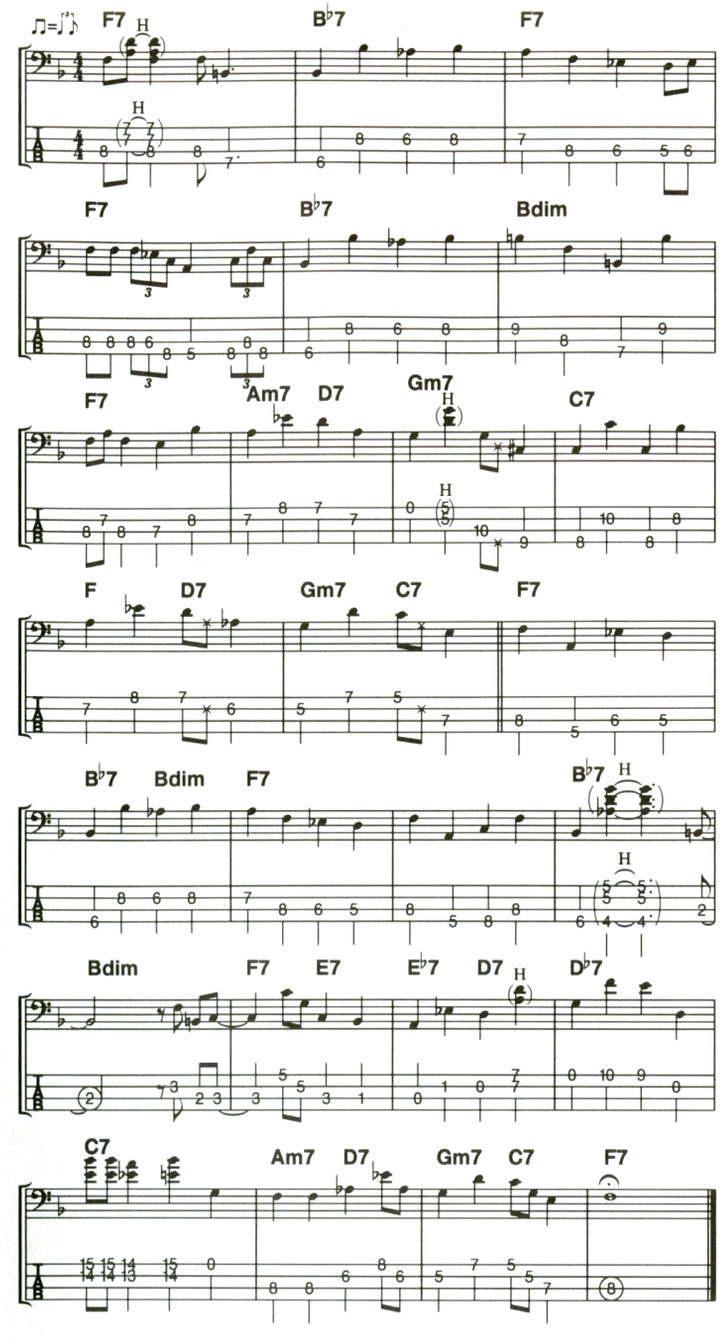
1-A ブルース Key=F

※ブルースは通常トニックに
7thコードを使用する。



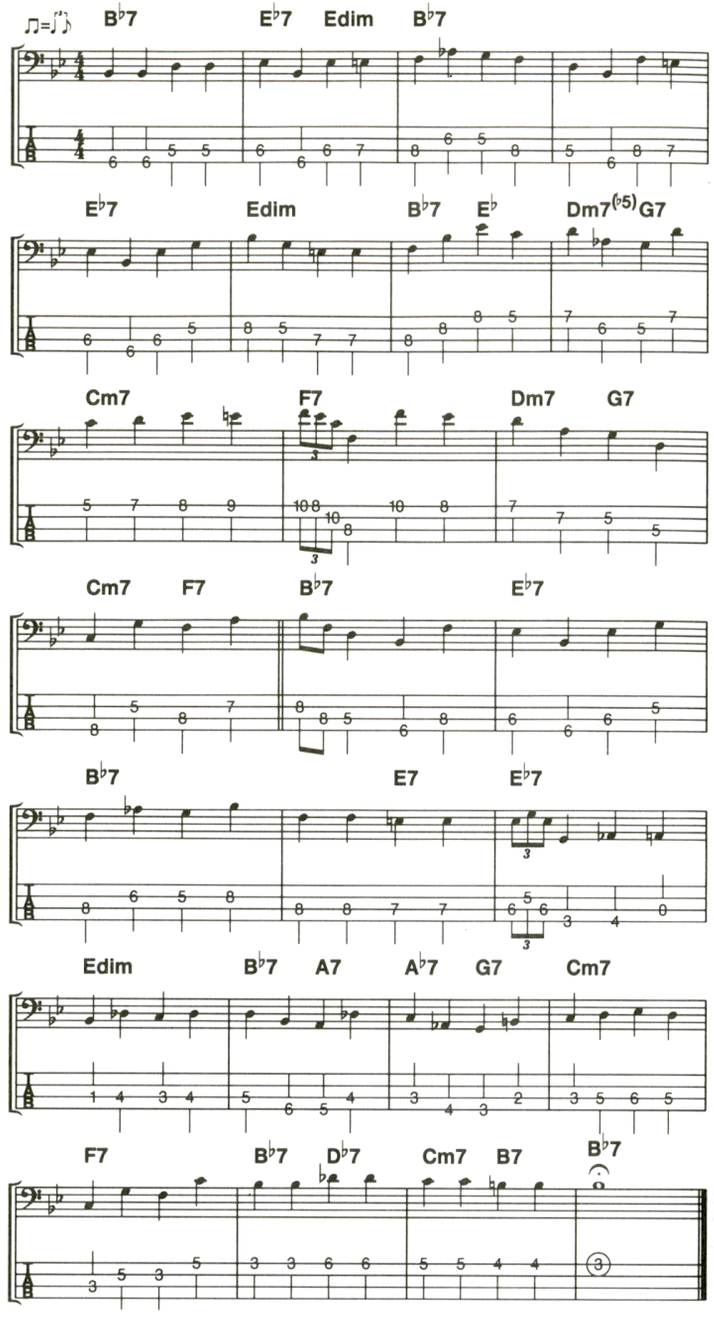
1-B ブルース Key=F

Harmonicsを効果的に利用します
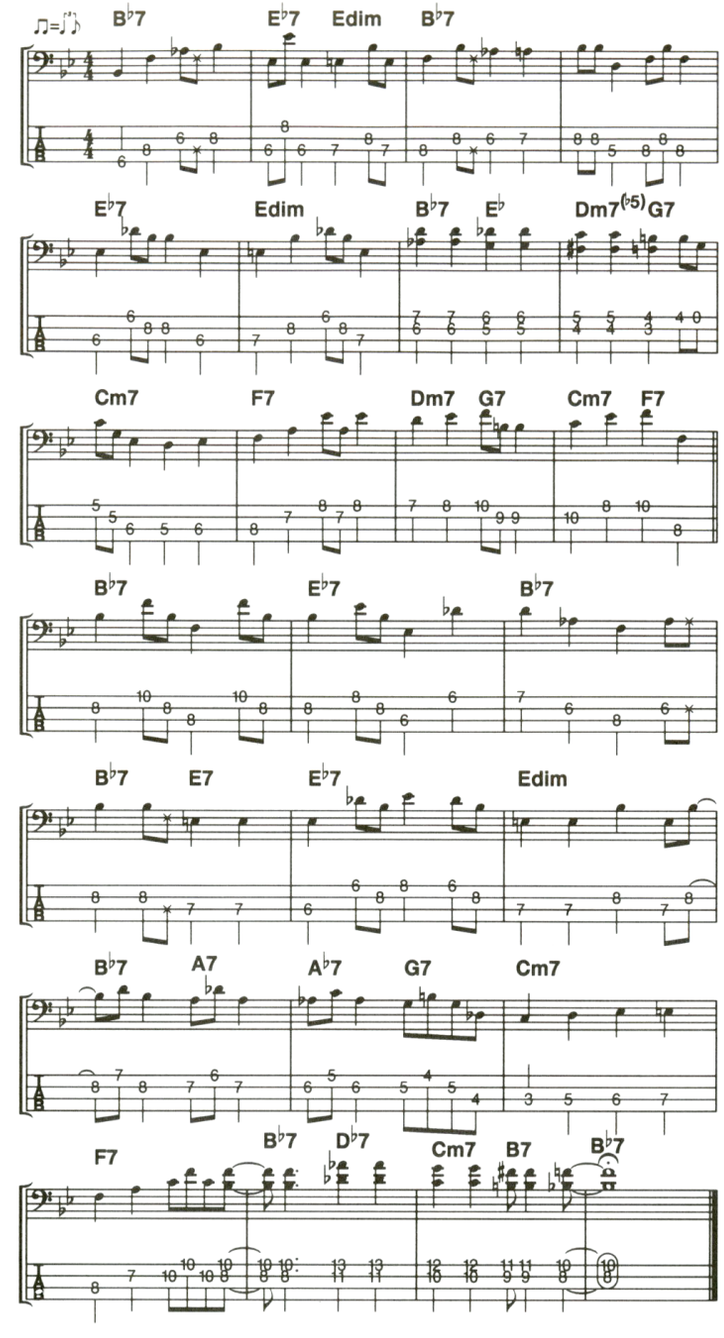


2-A ブルース Key=B♭

10小節目1拍目等のレイキングを活用して下さい
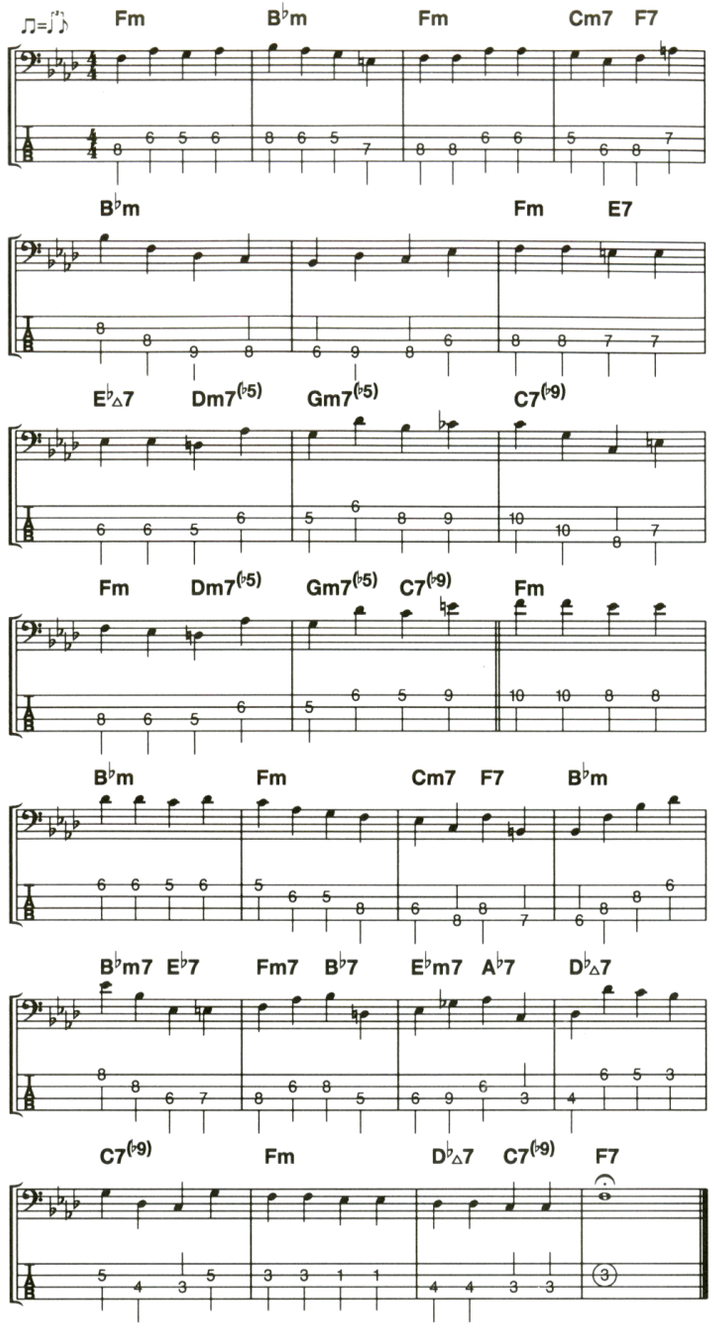


2-B ブルース Key=B♭

3rdと7thのダブル・ストップを利用して下さい
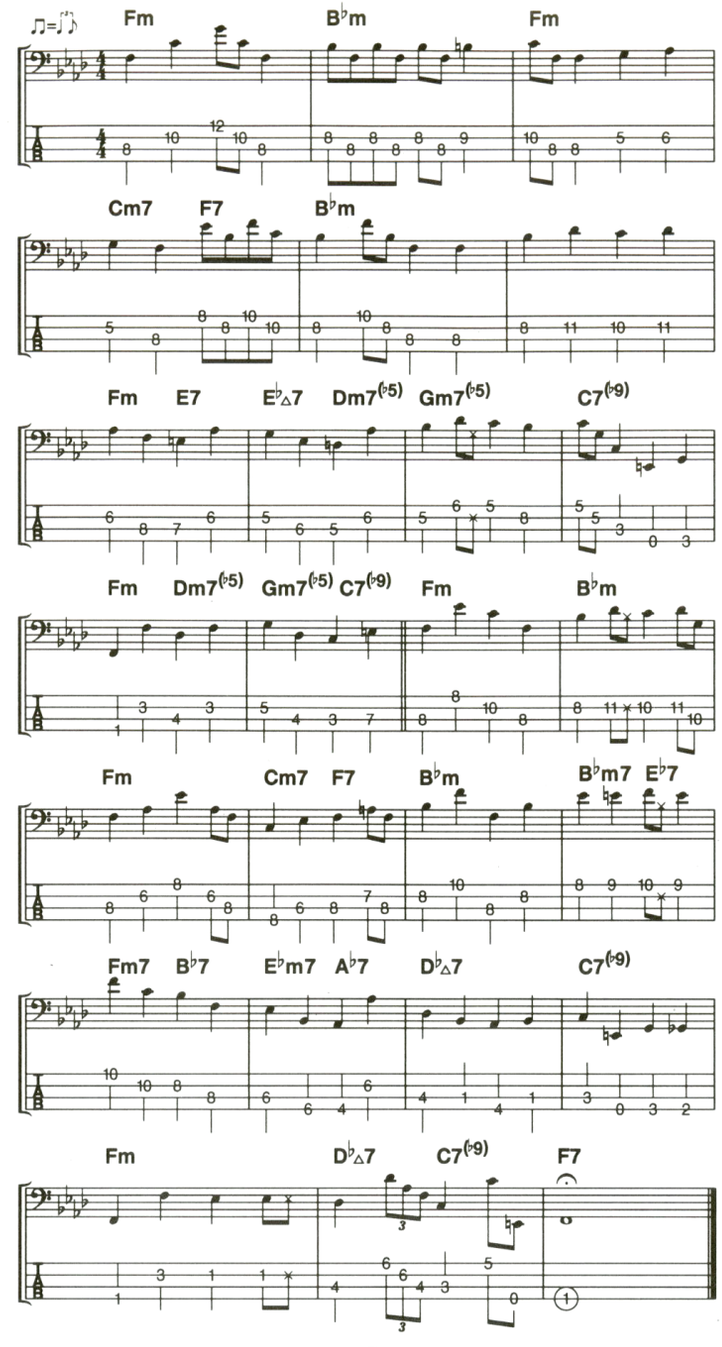


3-A ブルース Key=Fm

Minor曲のMedium Slowはフロント・ピックアップで弾くと感じが出やすい
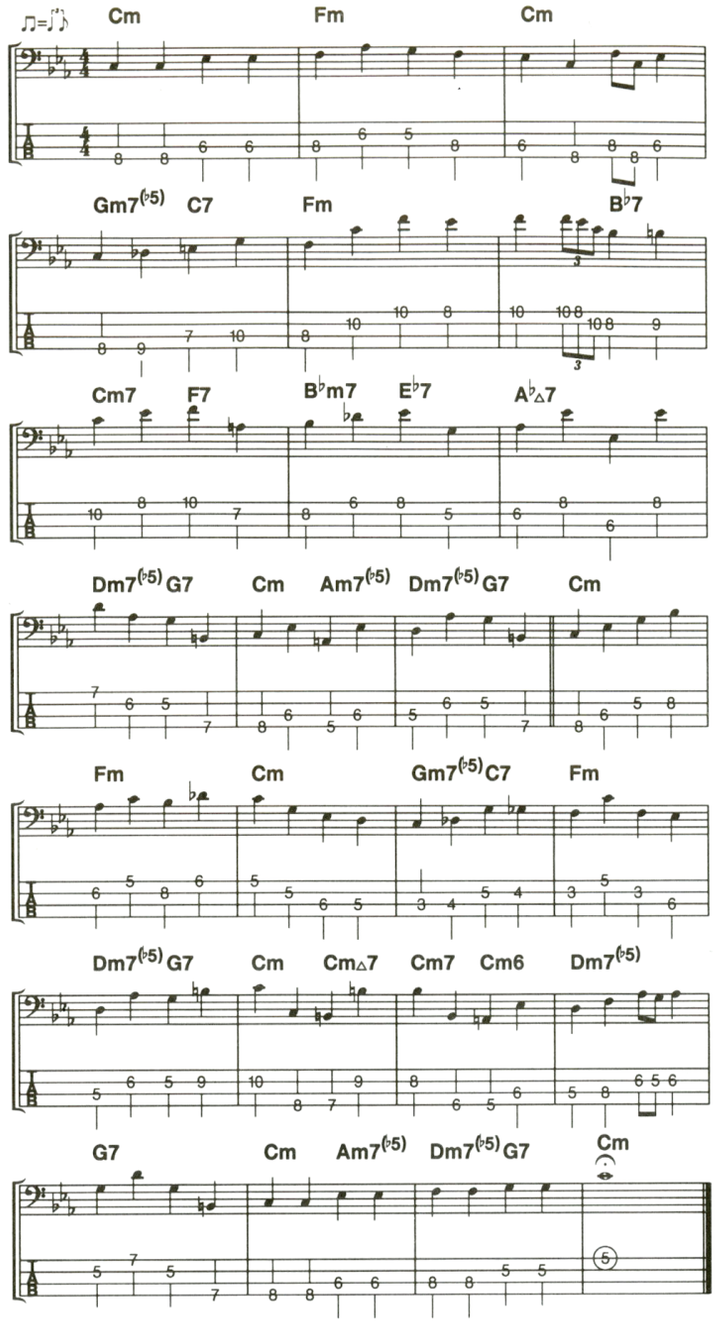


3-B ブルース Key=Fm

フロント・ピックアップ側で弾き淡い甘さを出すのもテクニックです
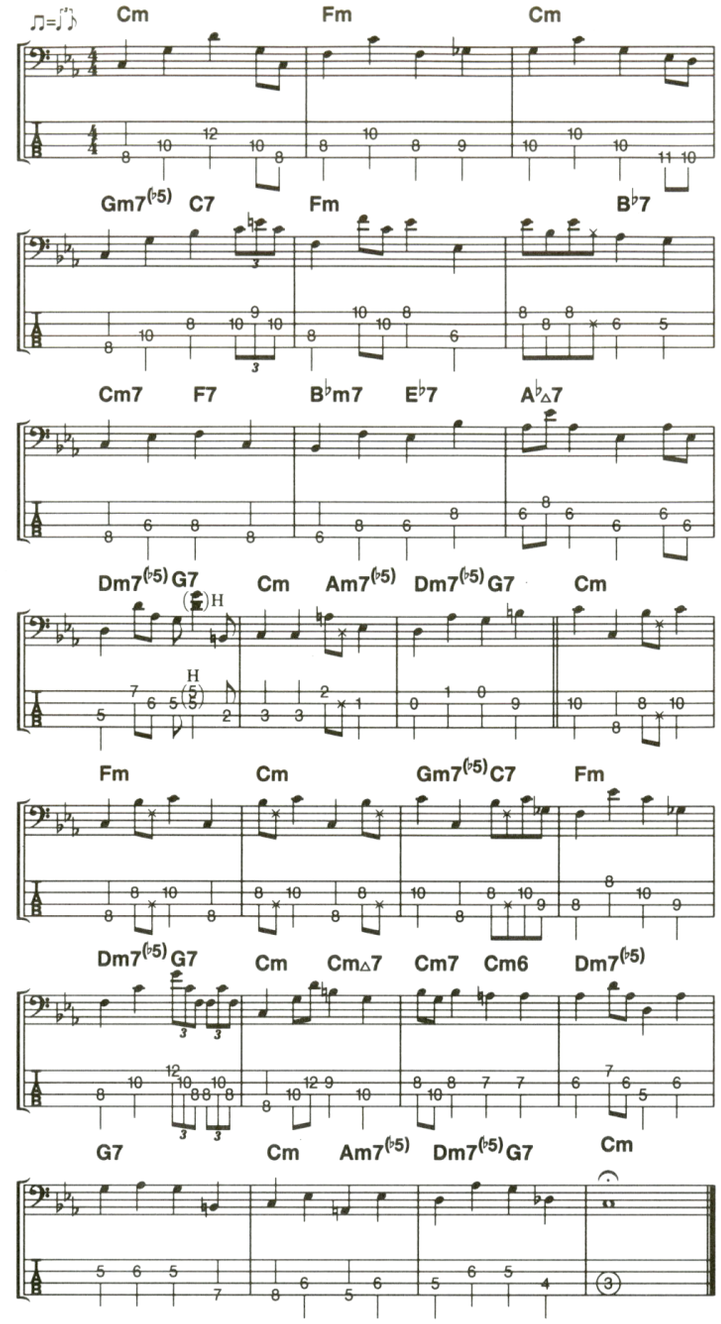


4-A ブルース Key=Cm

運指のポジションのローとハイ両方を使用します
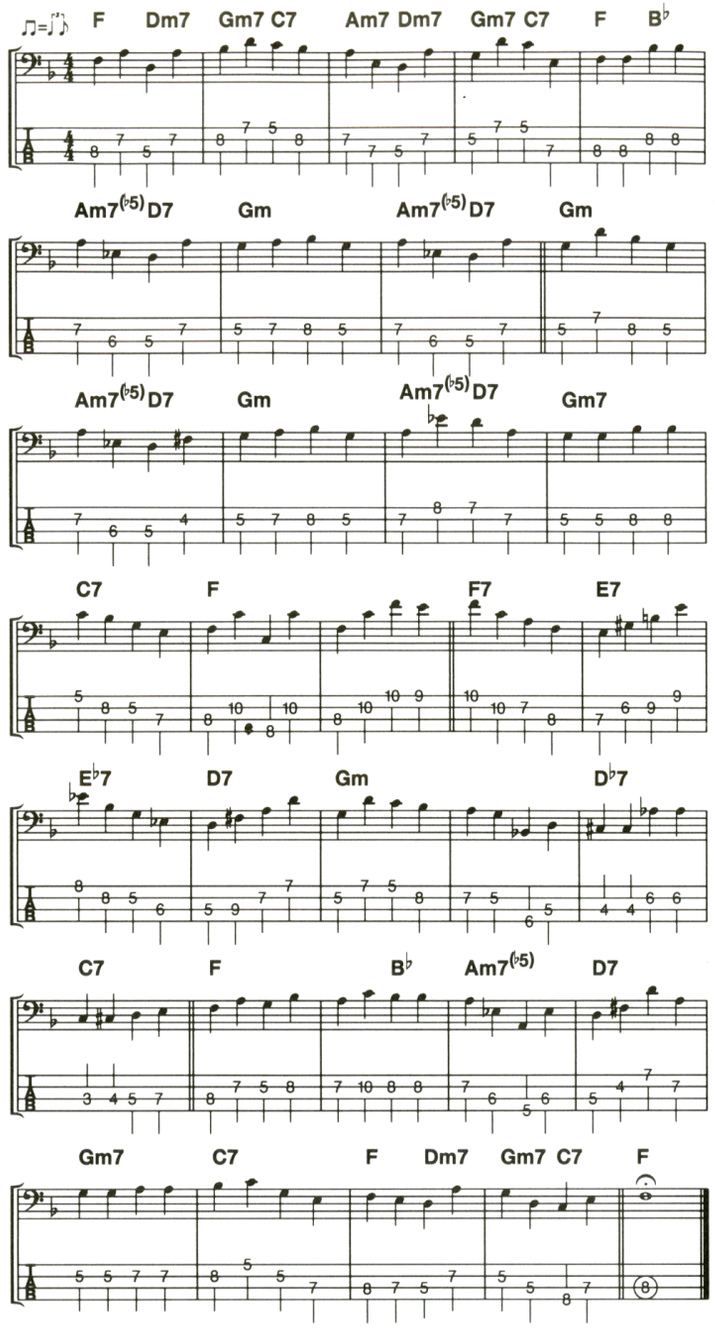


4-B ブルース Key=Cm

9thの音を効果的に使って下さい
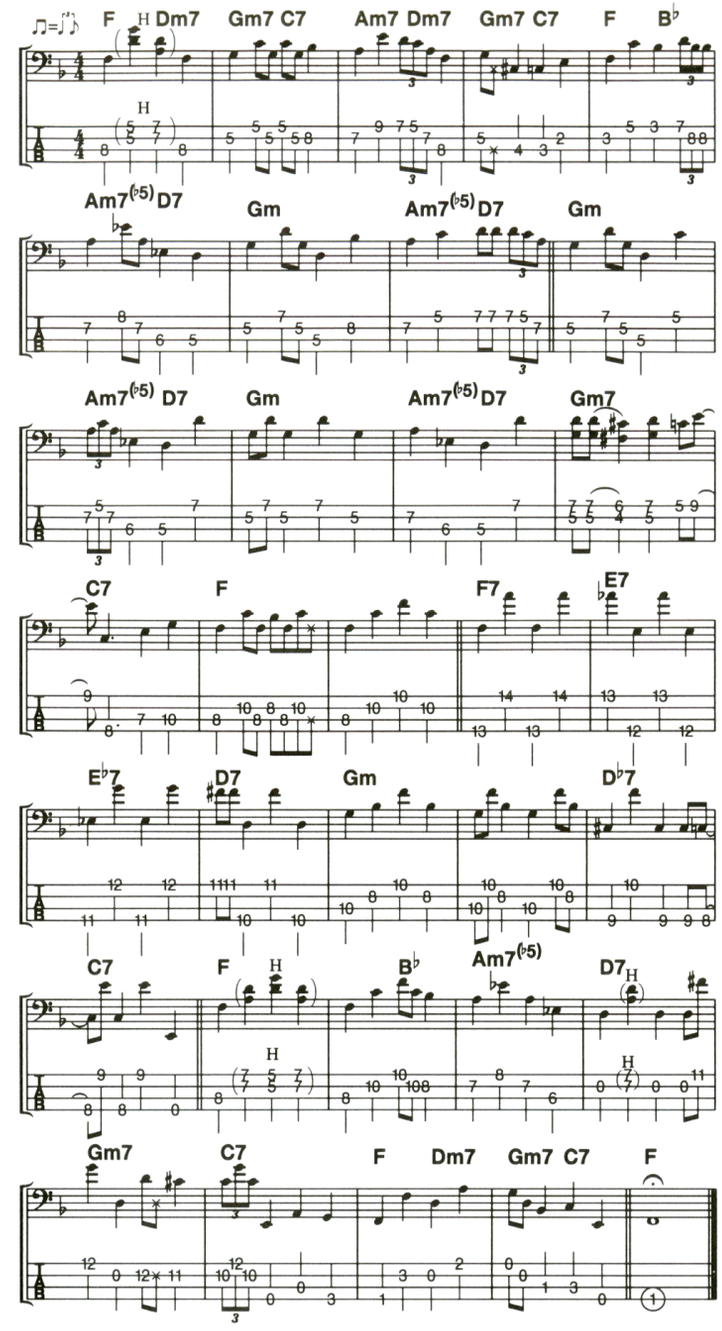


5-A スタンダード Key=F

Chordが2拍ずつ動く場合は構成和音だけで十分です



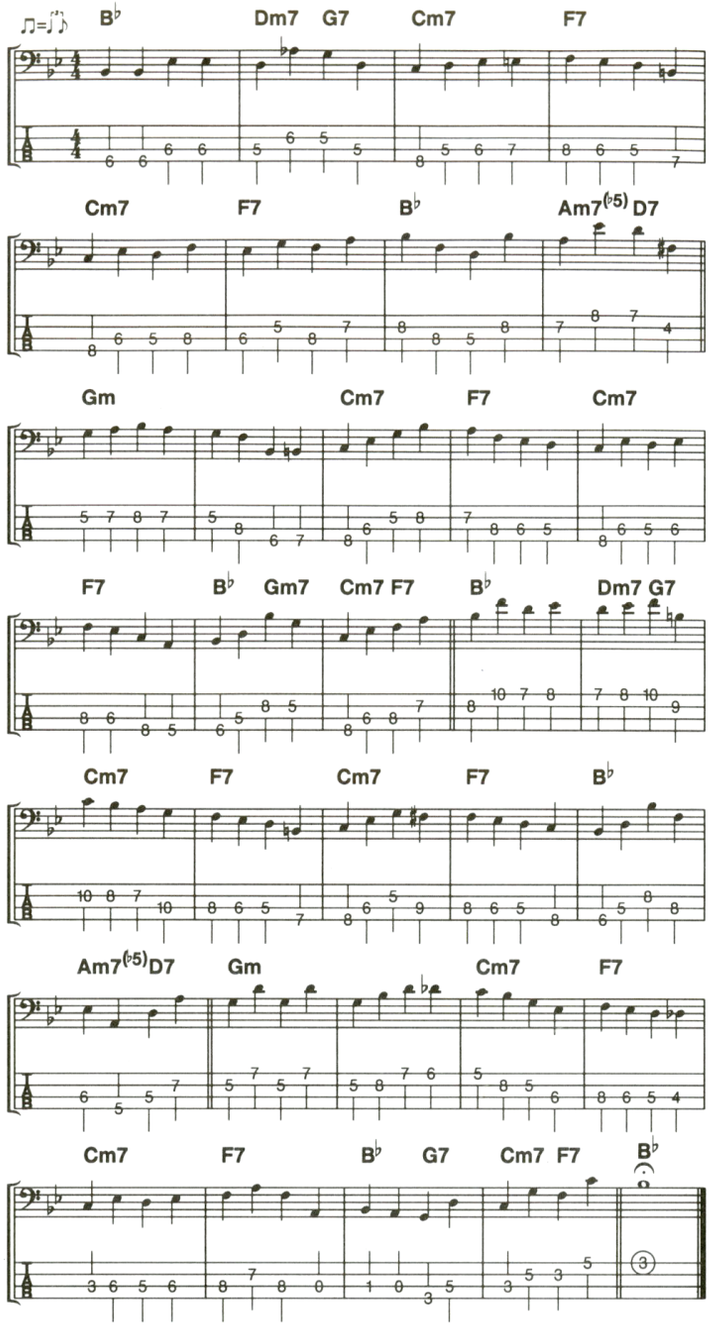
5-B スタンダード Key=F

長いトニックChordを3度、Minor6度、Minor2度、Minor7th、5度7thで代理してます
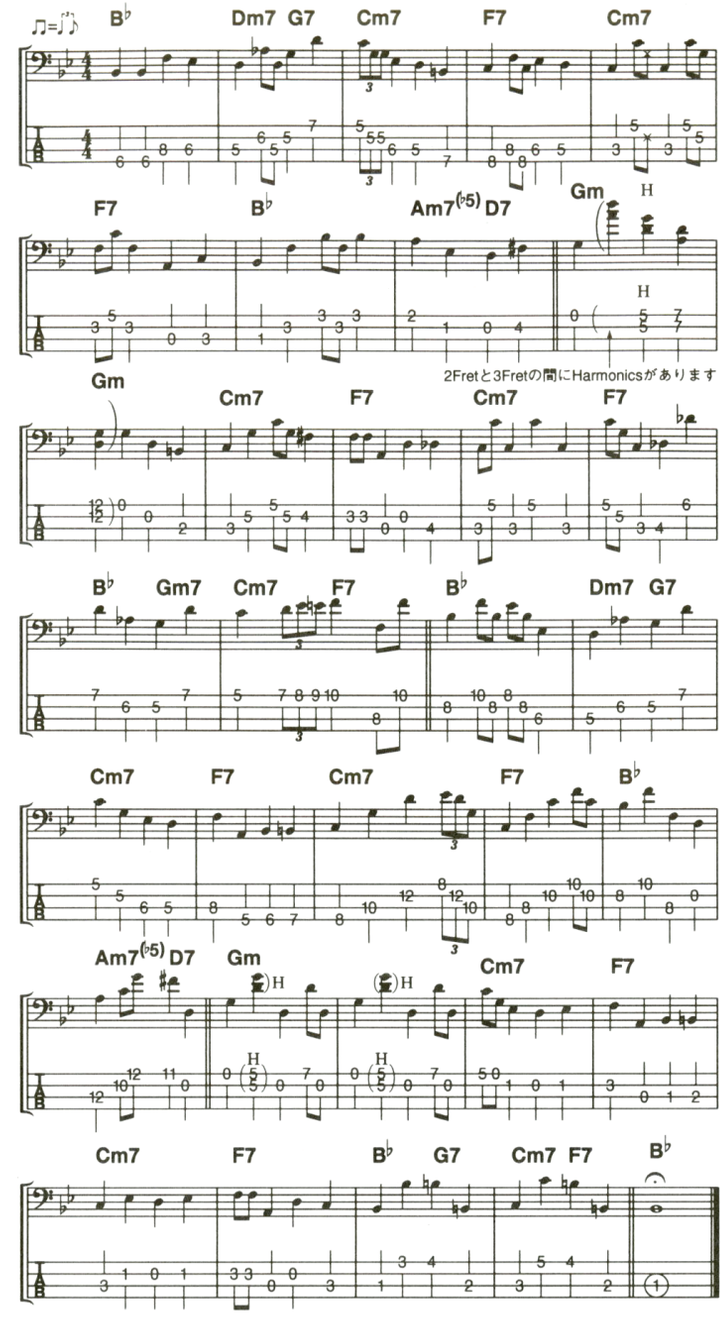


6-A スタンダード Key=B♭

最後に開放弦が出てきますが、開放弦運指も大変便利です
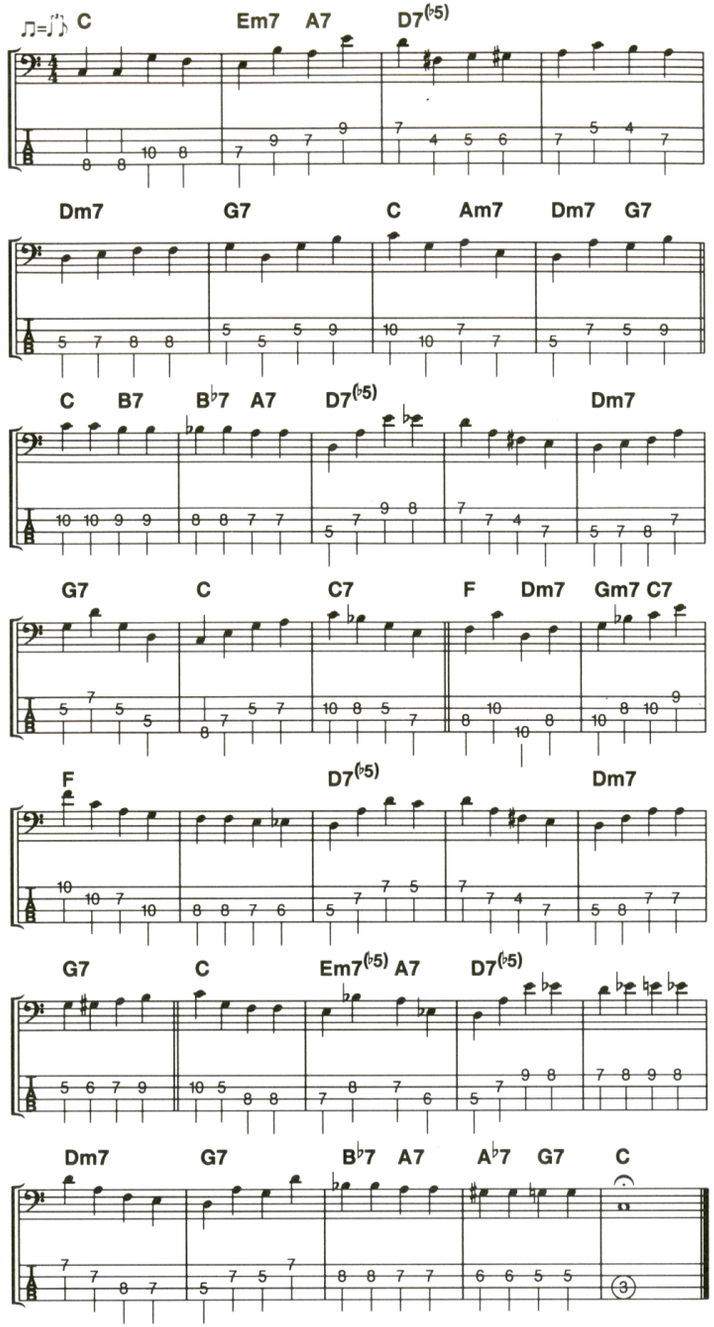


6-B スタンダード Key=B♭

前半16小節のKeyはB♭で後半16小節はGmになります
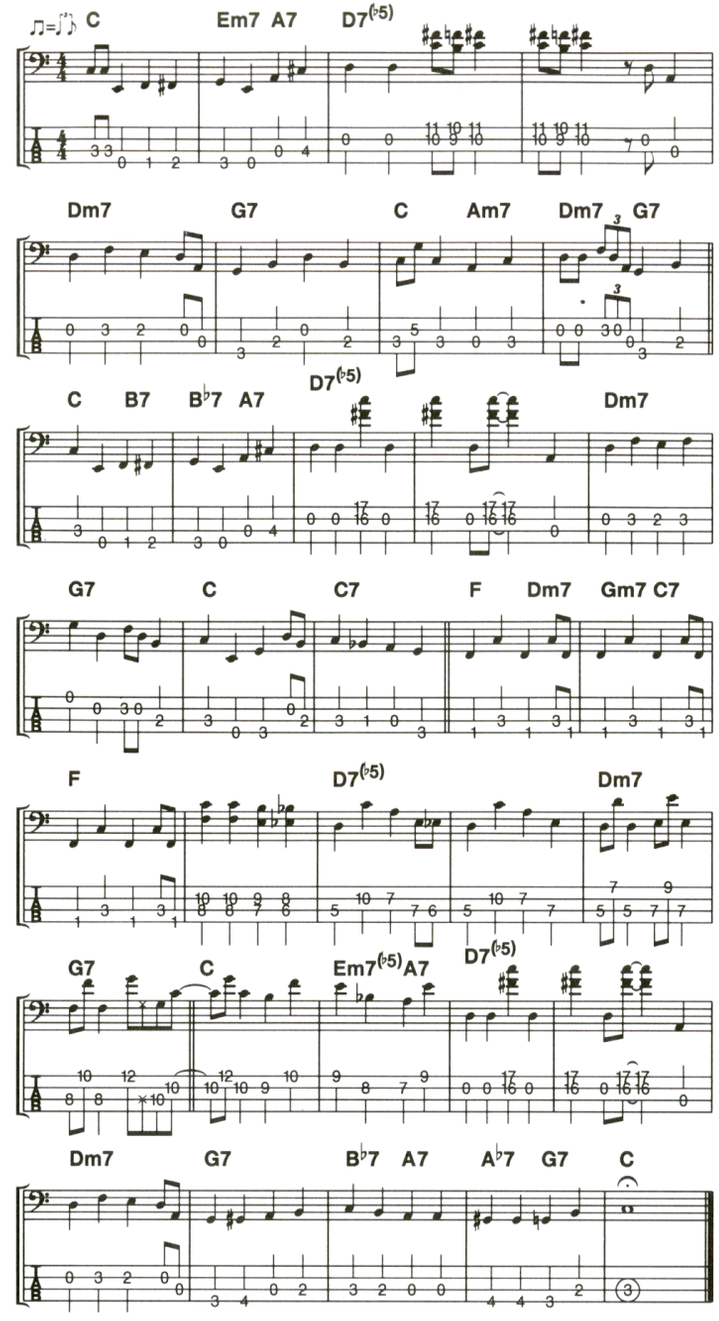


7-A スタンダード Key=C

このLineは本当ならば開放弦使用の方がずっと楽です
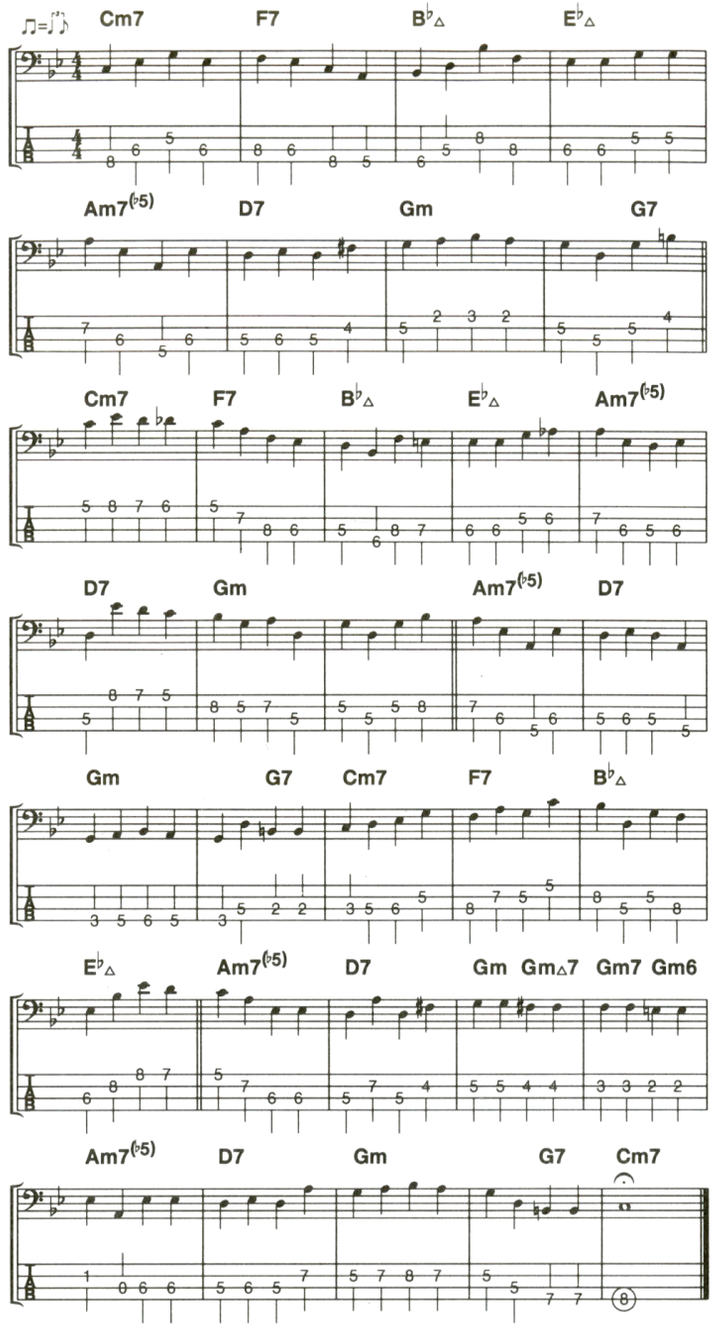


7-B スタンダード Key=C

開放弦主体の運指を活用してください
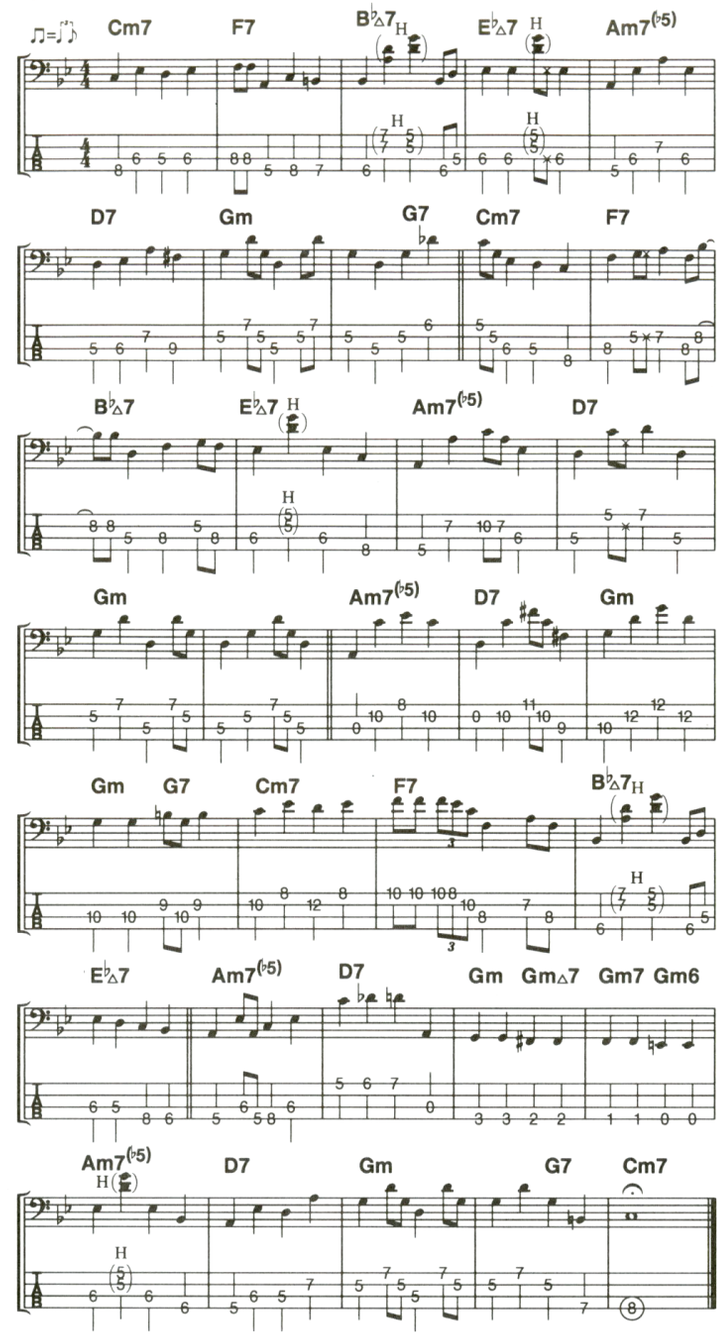


8-A スタンダード Key=Gm

Majorへのドミナント進行とMinorへのドミナント進行が交互に来ます



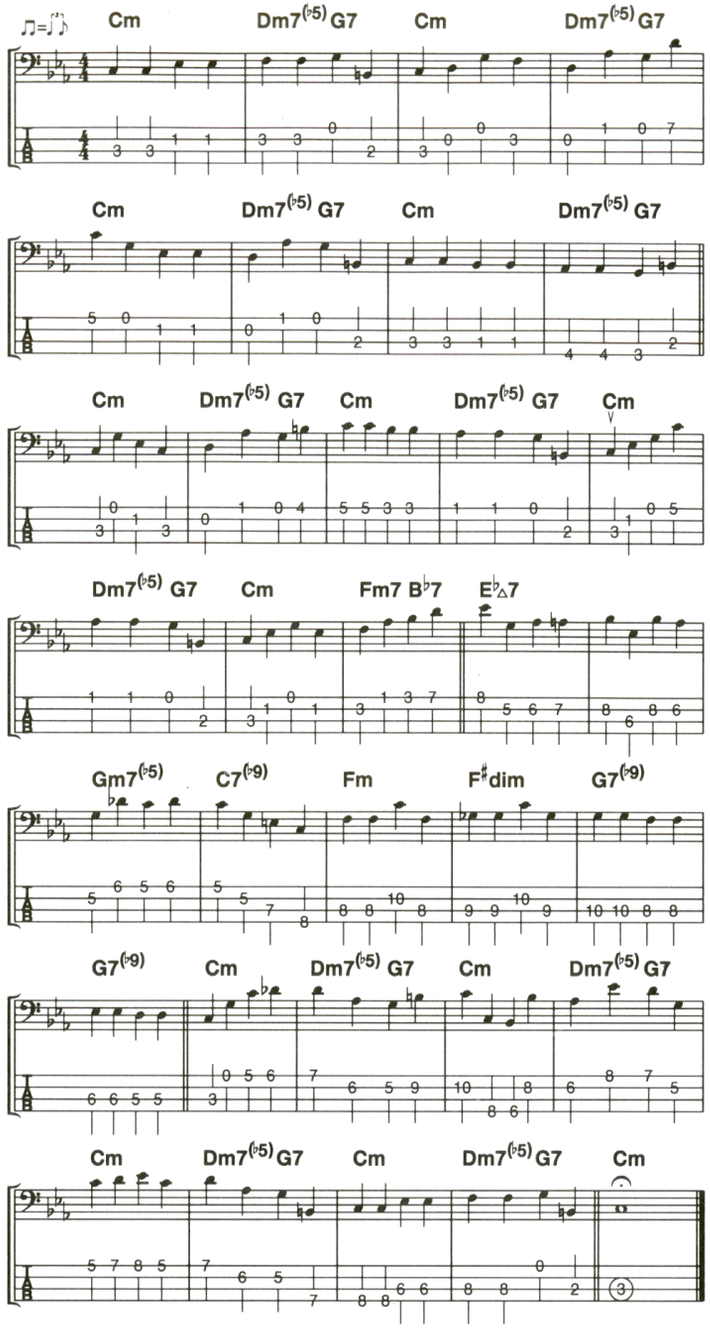
8-B スタンダード Key=Gm

Harmonicsは一緒でもChordの場所で響きが変わります
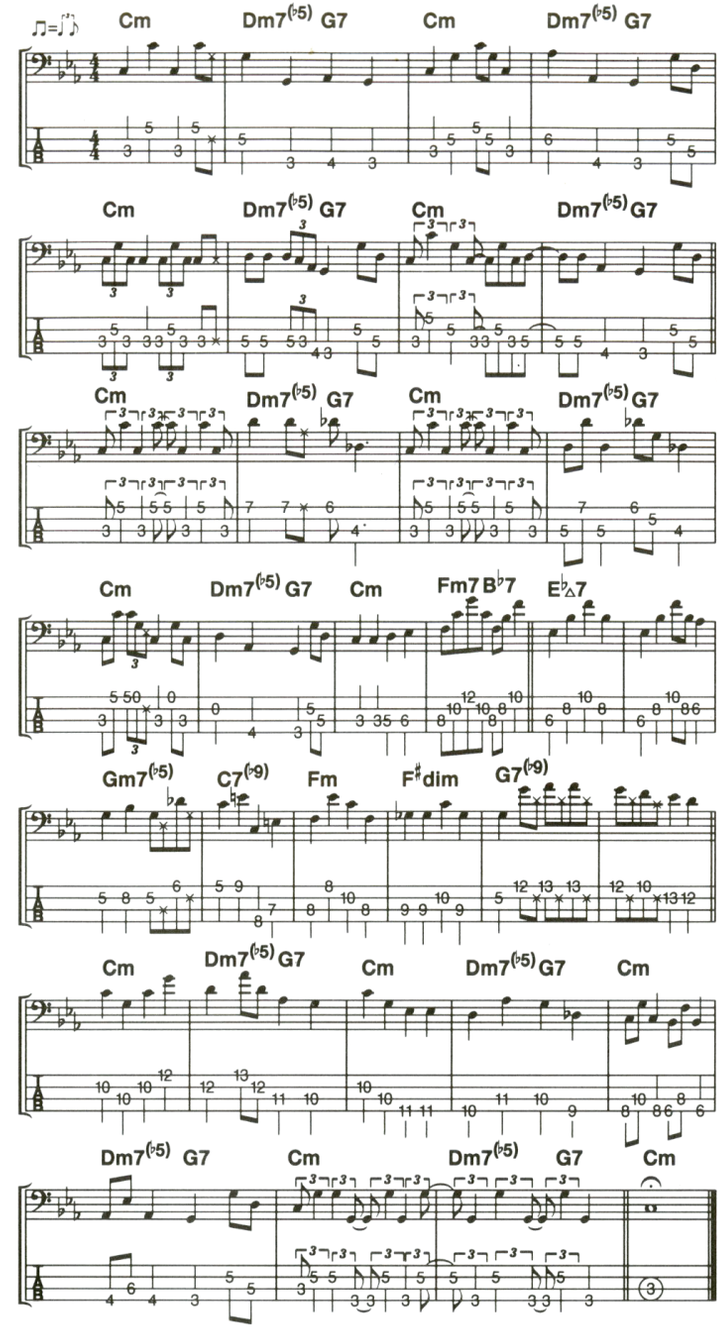


9-A スタンダード Key=Cm

はじめの16小節は開放弦の使用運指です



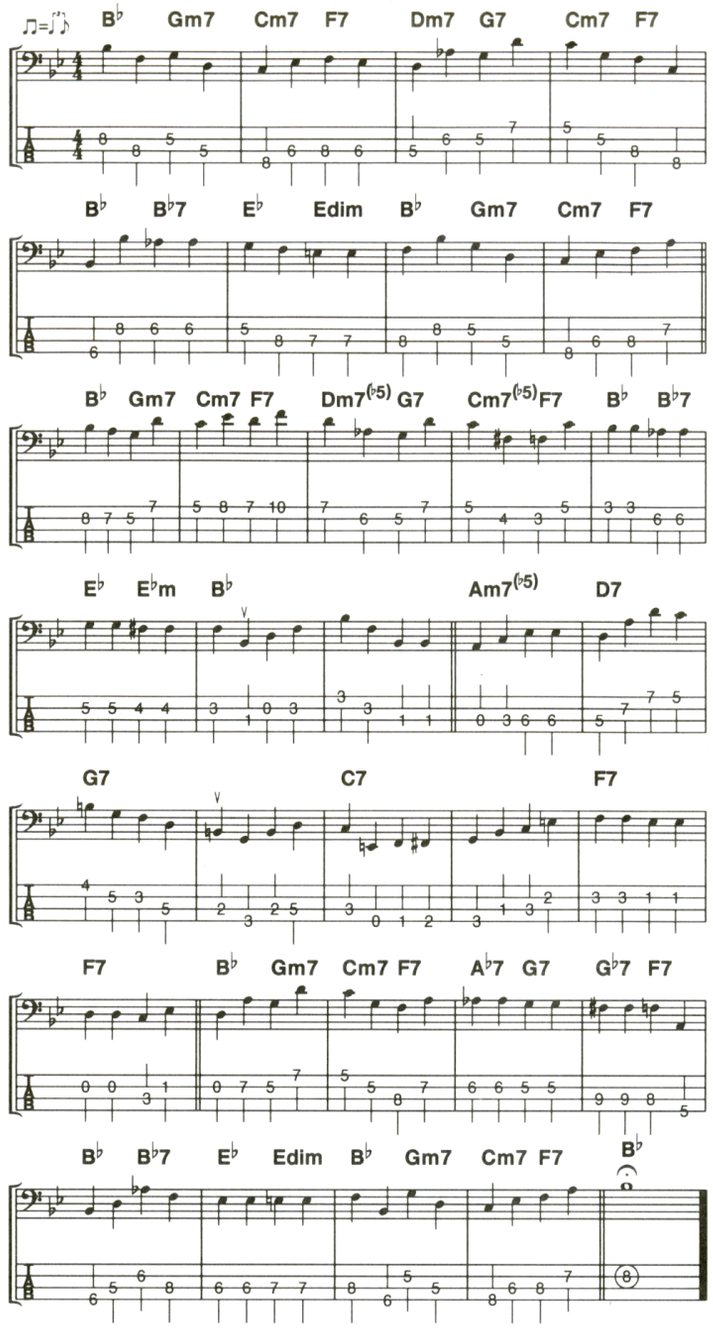
9-B スタンダード Key=Cm

動かなくてもWalking Lineが出来ることを勉強して下さい



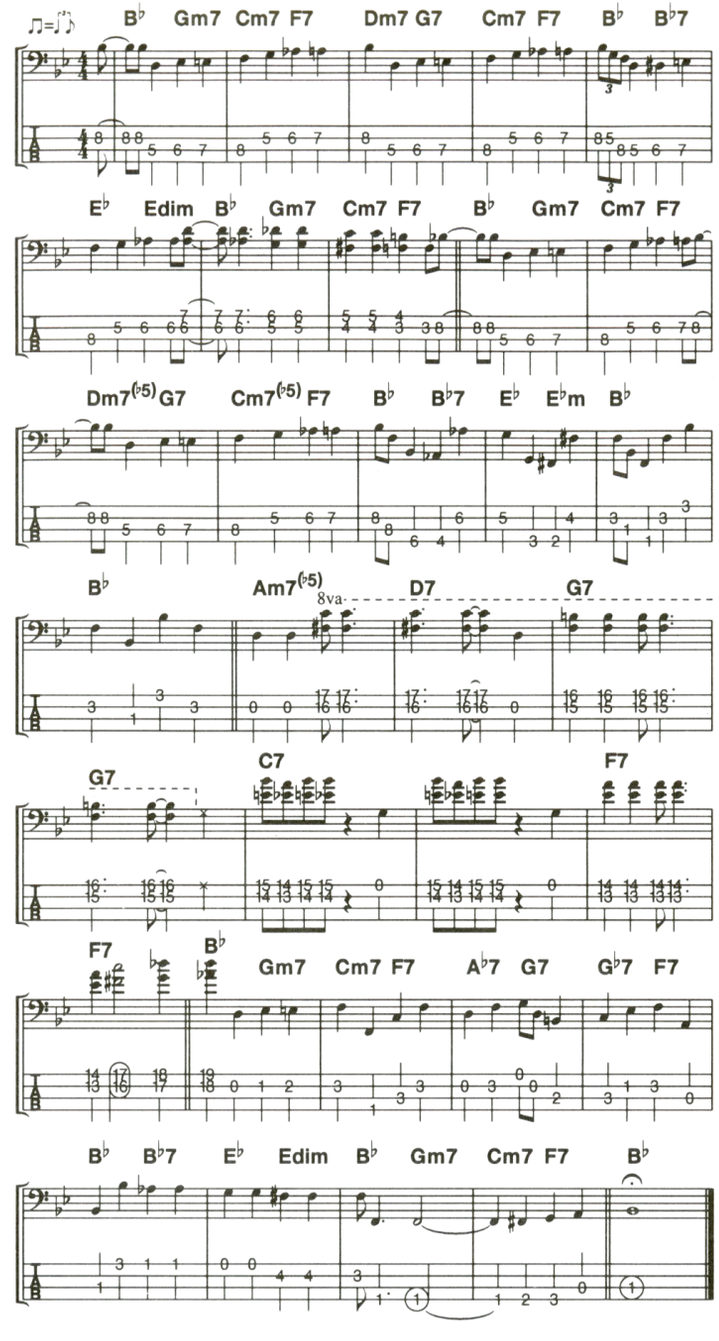
10-A バップ循環 Key=B♭

ローポジションの開放弦とMediumポジションの運指を使用します
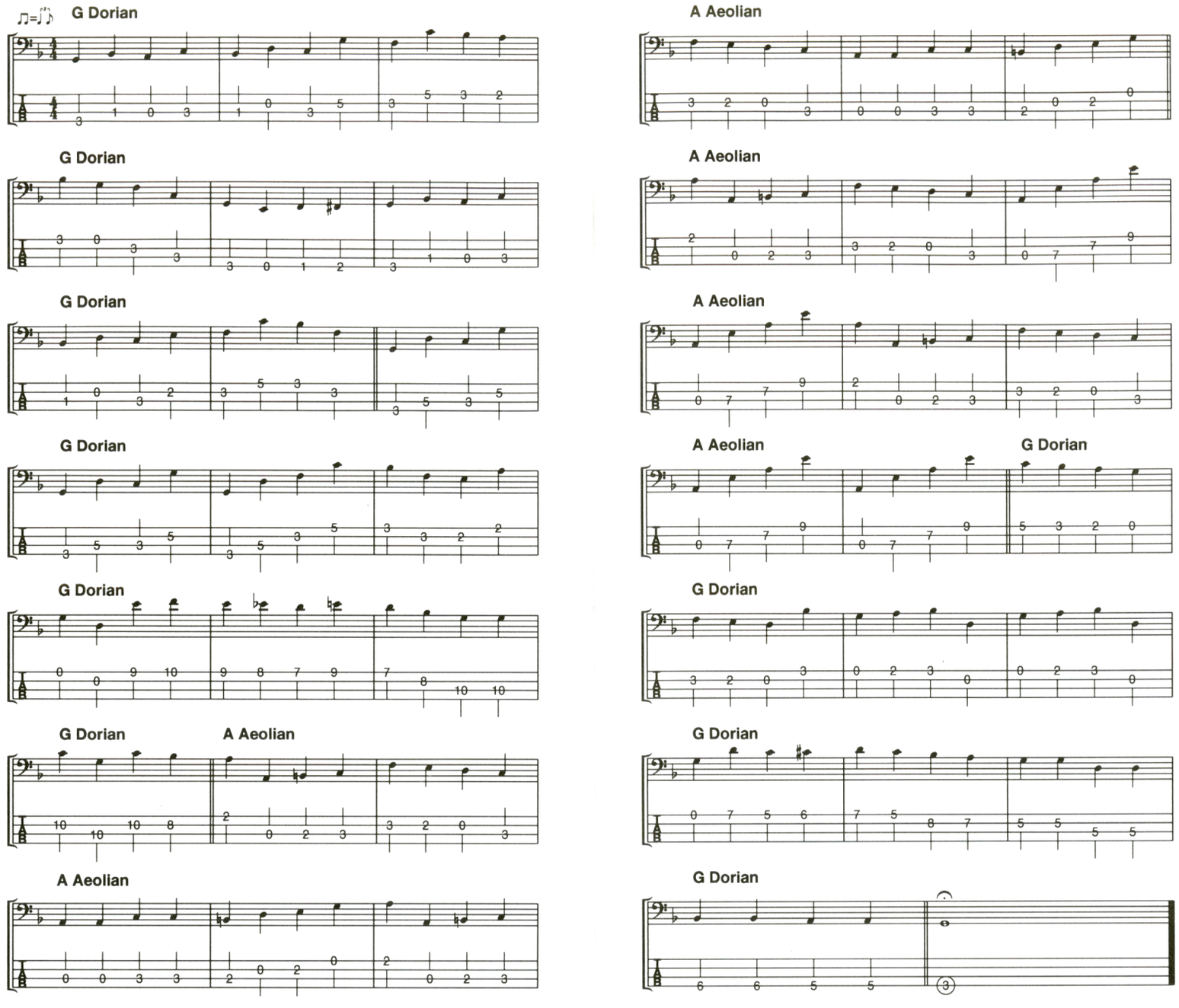


10-B バップ循環 Key=B♭

開放弦とダブルストップの併用が決め手です
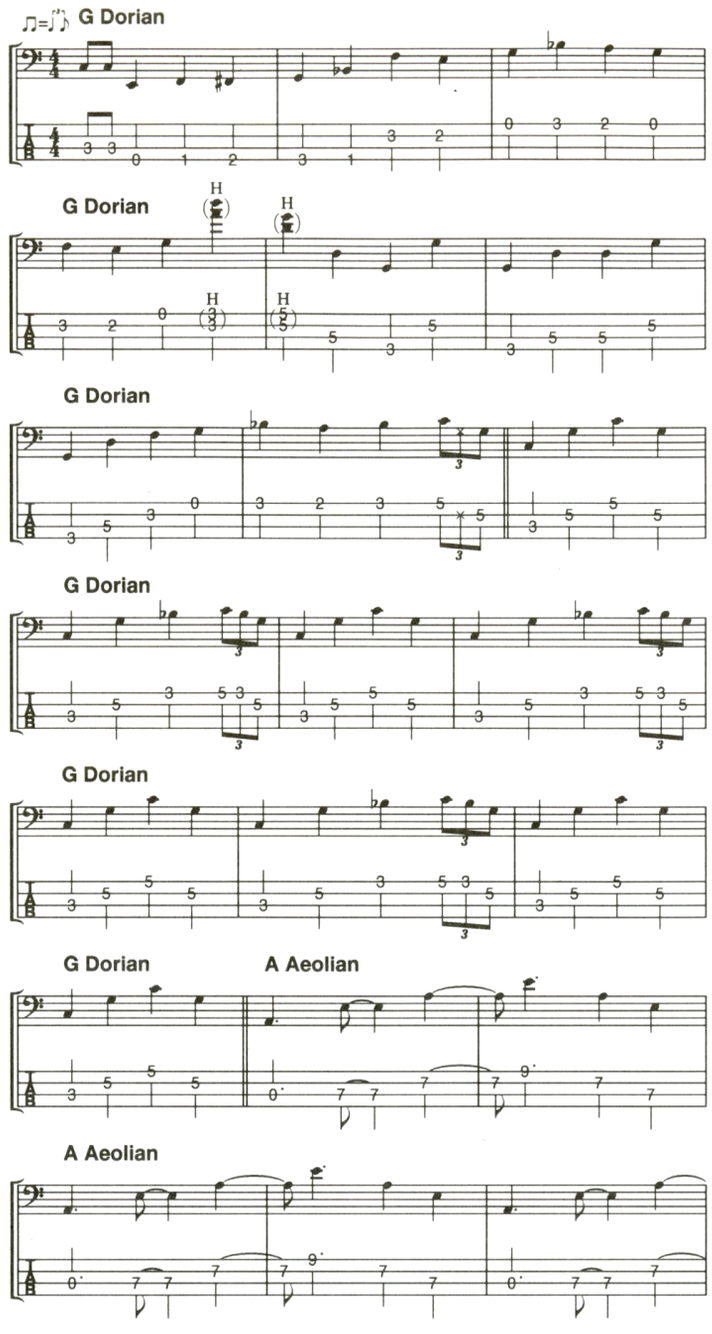


11-A モード形態 Key=G Dorian
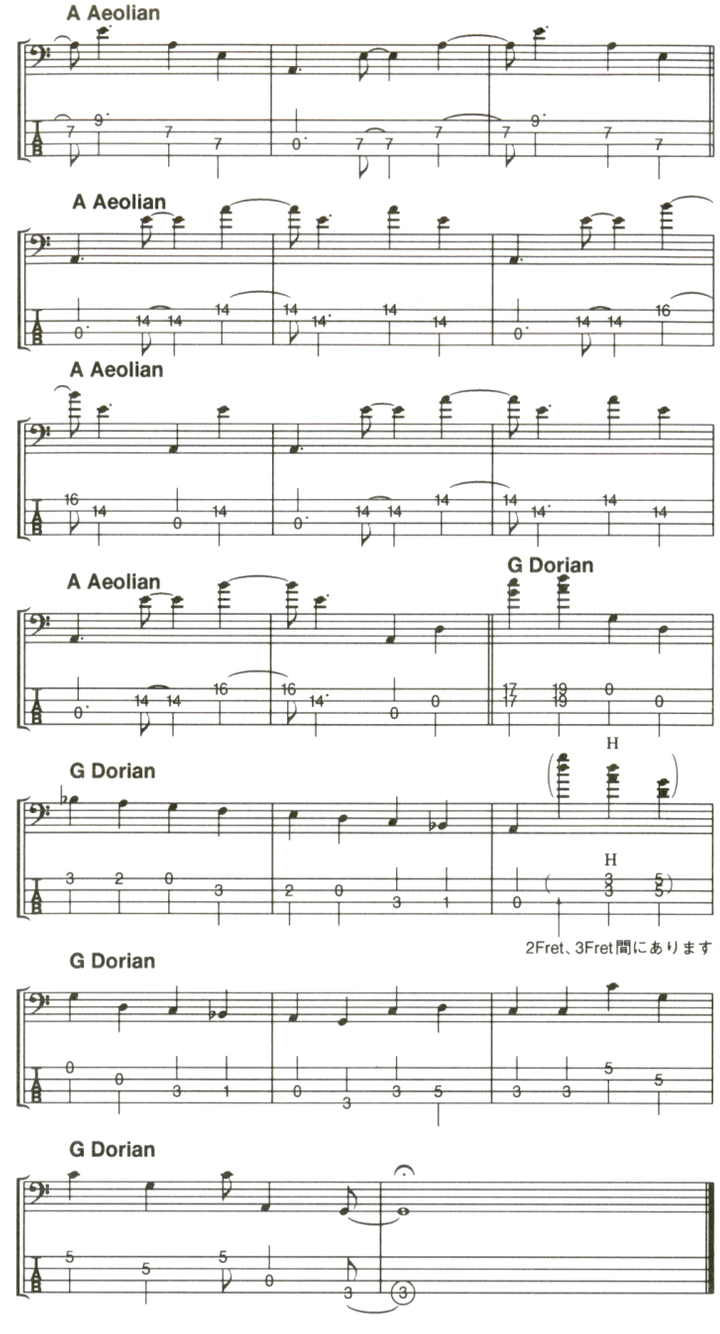
開放弦の良さを利用しています



11-B モード形態 Key=G Dorian
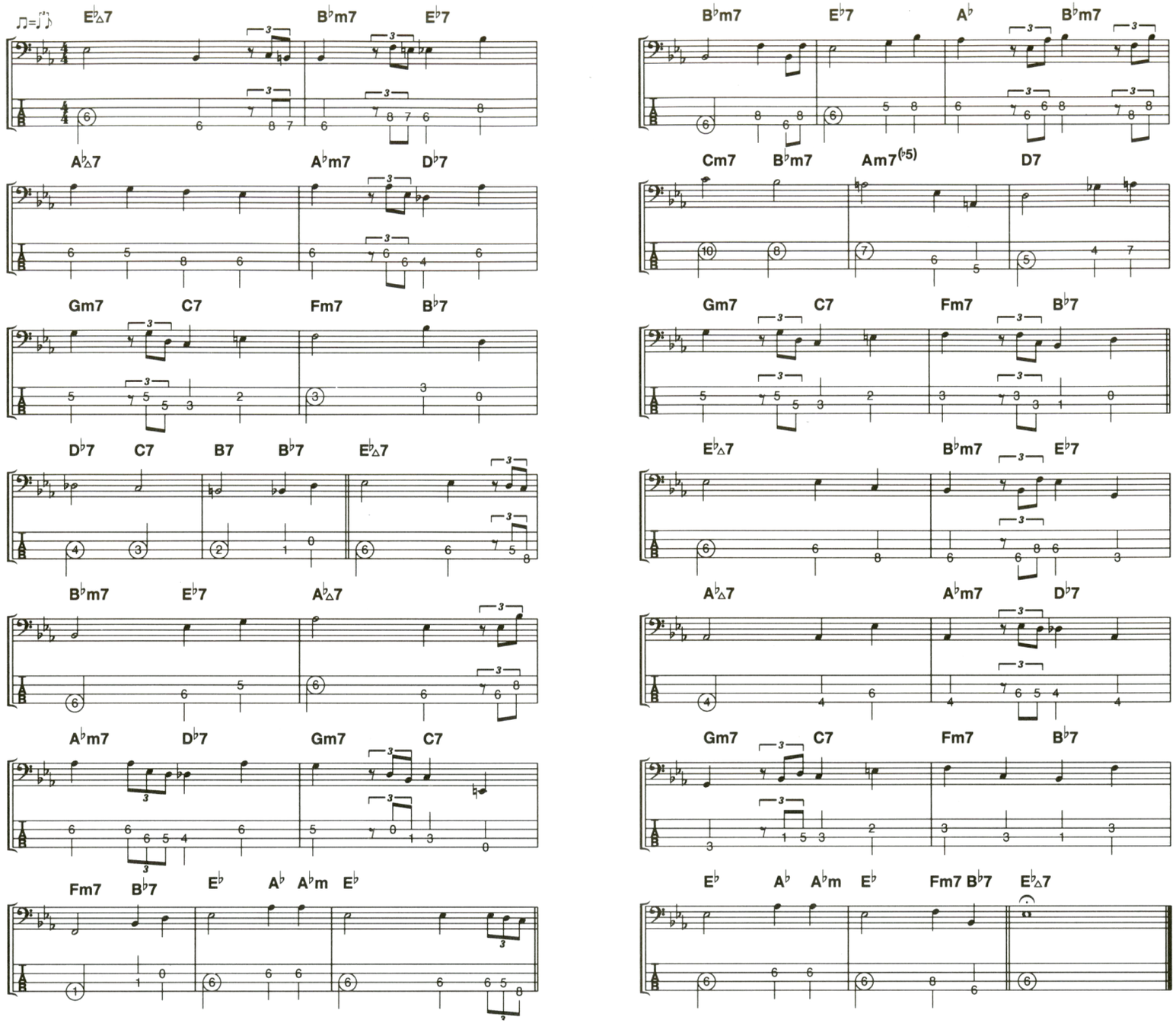
開放弦の使用の方が色々なアプローチが出来ます
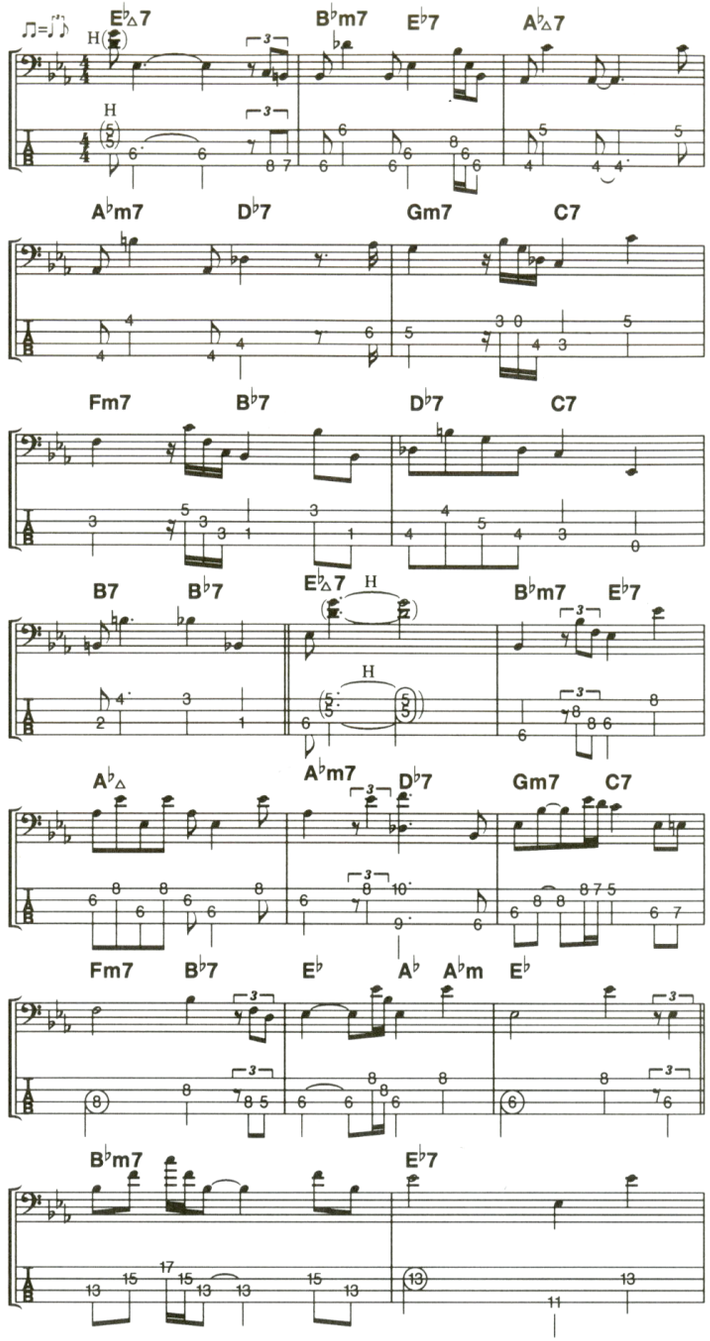




12-A スロー・スタンダード Key=E♭
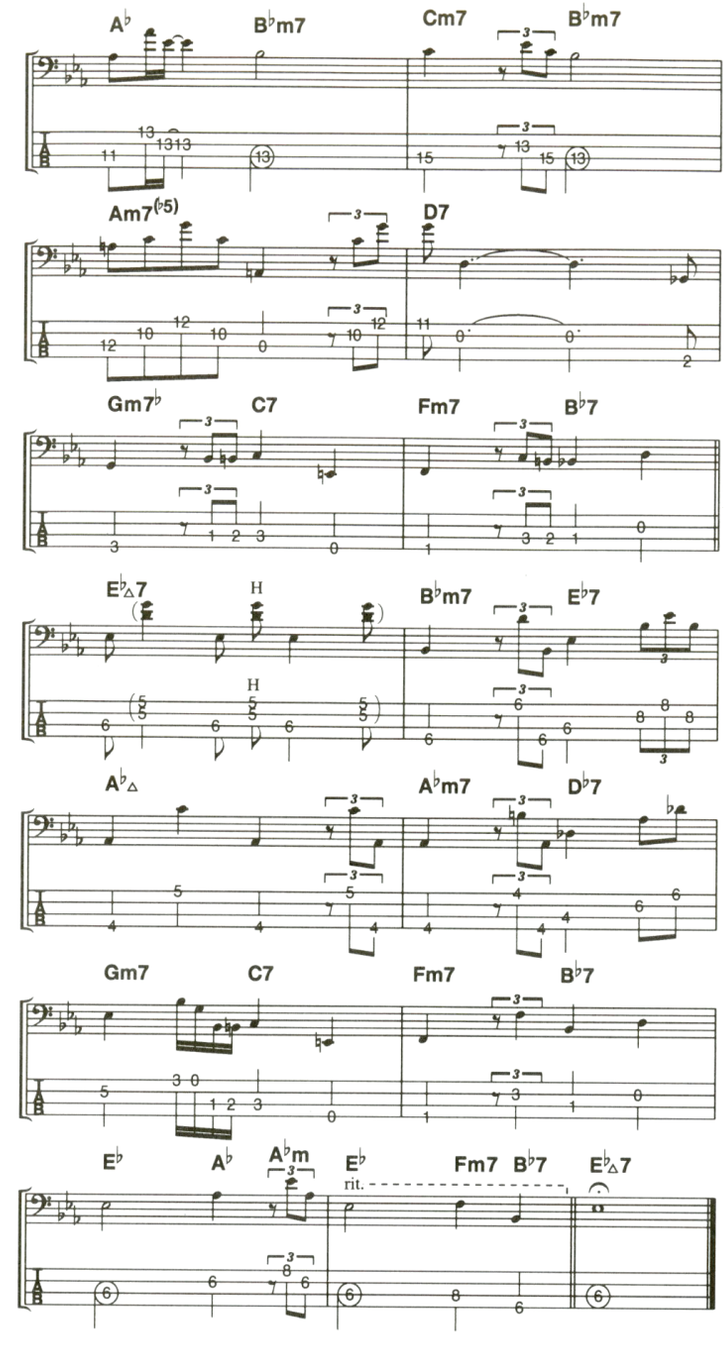
この曲のローポジハイポジは音色を考えての事です



12-B スロー・スタンダード Key=E♭
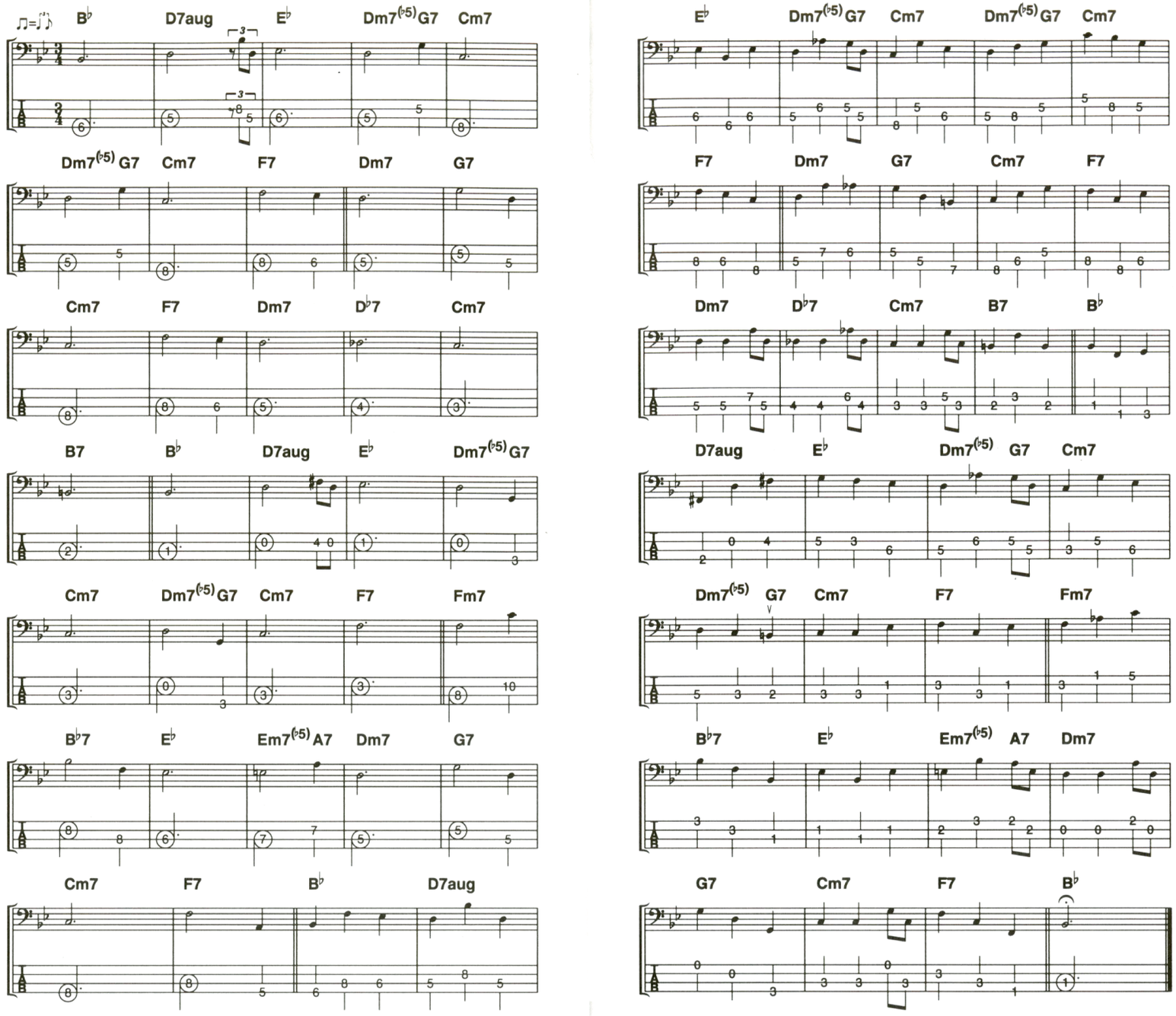
Slowは色んなRhythmで出来る分難しいです。しかし慣れると逆に色んなRhythmで遊べるわけです
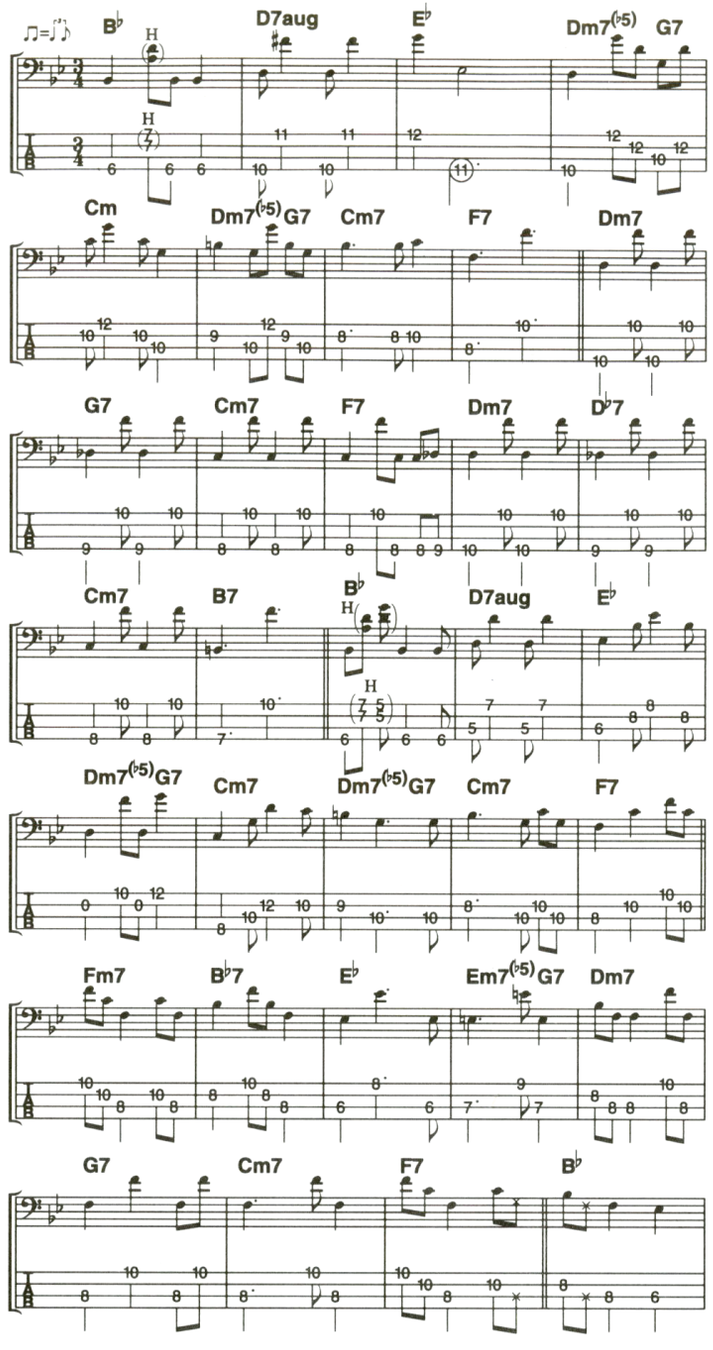




13-A スタンダード3/4 Key=B♭
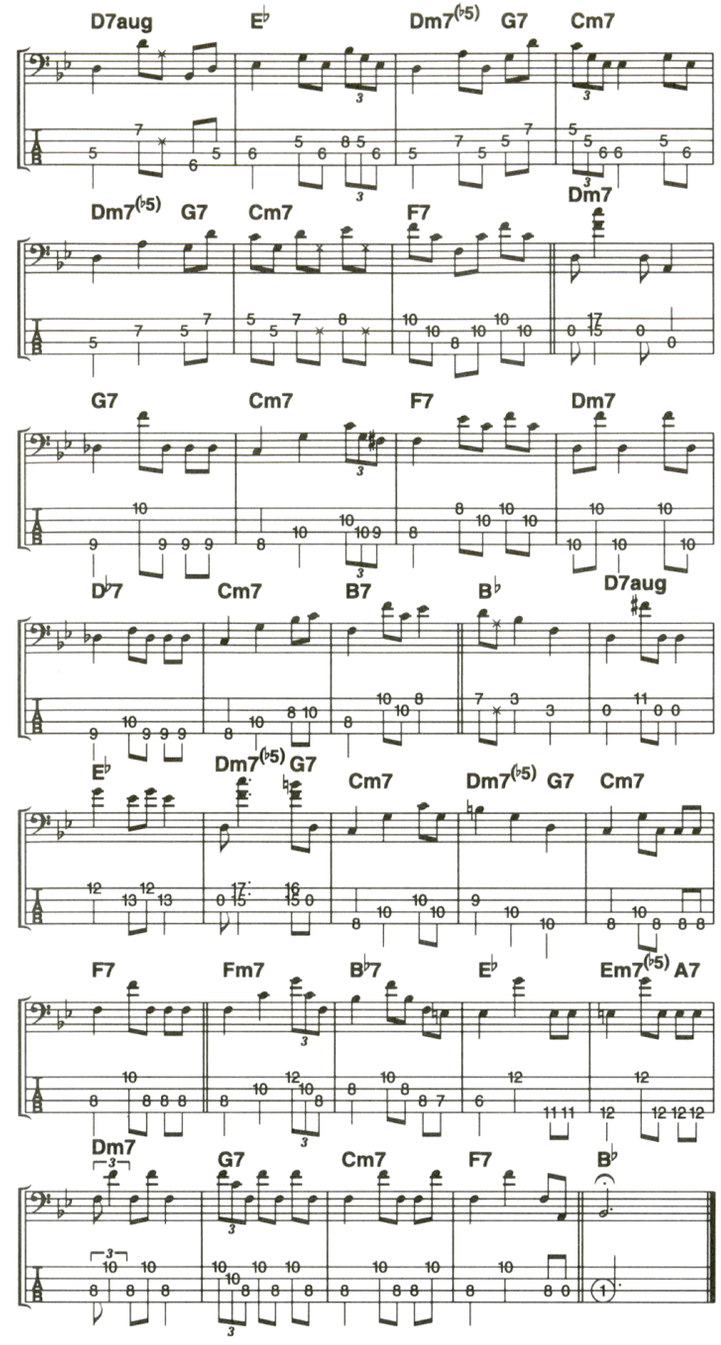
まずリズムに慣れることです



13-B スタンダード3/4 Key=B♭
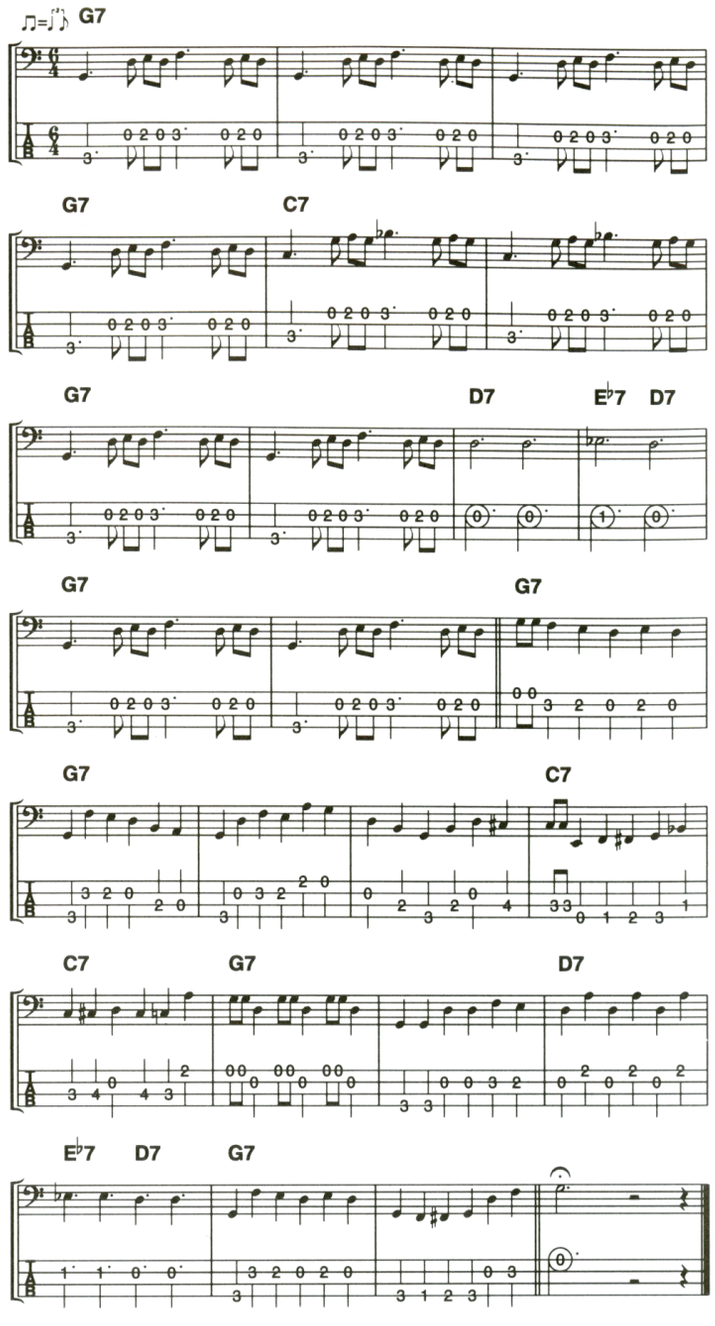
3/4は流れるように弾くことです
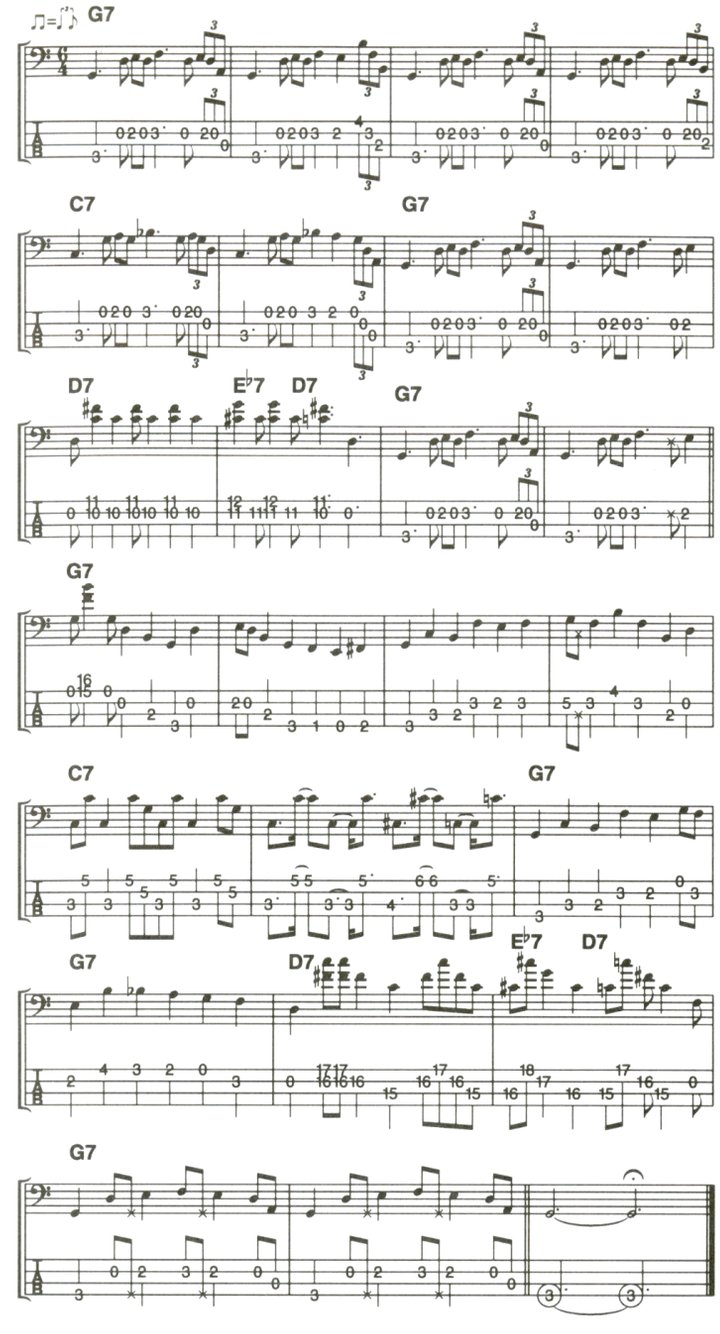




14-A スタンダード6/8 Key=G7

6/8で譜面を作成すると見にくいため6/4で書きます。うまく開放弦を利用して練習して下さい



14-B スタンダード6/8 Key=G7

6/8ですが記譜上見にくいため6/4で書いてま



■譜面制作：有限会社ハンズ・エム
■企画制作／販売元：リットーミュージック
※無断複製・転写を禁ずる